

作成日 2017年04月28日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 HC トップアクア 硬化剤グレー

会社名 保土谷建材株式会社
住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号
担当部門 技術部
電話番号 03-5299-8170 FAX 番号 03-5299-8275
メールアドレス hcp@hodogaya.co.jp
緊急連絡先 03-5299-8170 弊社
奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用仕上げ材 等)
整理番号 H-5-24

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼損傷/眼刺激性	区分外
感作性	
呼吸器	区分外
皮膚	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分2
生殖毒性	区分外
特定標的臓器/全身毒性	
単回暴露	区分外
反復暴露	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	区分2
水生環境慢性有害性	区分2

* 記載がないものは分類対象外または分類できない

ラベル要素:



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報

- ・ 吸入すると有害
- ・ 発がんのおそれの疑い
- ・ 水生生物に毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

[予防策]

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- ・ 環境への放出を避けること
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること

[対応]

- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること
- ・ 漏出物を回収すること

[保管]

- ・ 施錠して保管すること

[廃棄]

- ・ 内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物

化学名 水性ウレタン樹脂塗料

一般名 アクリルウレタン樹脂系エマルジョン

成分	含有量 %	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
二酸化チタン	5~15	TiO ₂	(1)-558・(5)-5225
カーボンブラック	1未満	C	---

成分	CAS No.	化学物質管理促進法 第1種指定化学物質	労働安全衛生法 第57条の2 第1項 通知対象物
二酸化チタン	13463-67-7	非該当	該当
カーボンブラック	1333-86-4	非該当	該当

4. 応急措置

吸入した場合：蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：誤って飲み込んだ場合には、安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火剤：霧状の水、粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。

火災時の特定危険有害性：この物自体には可燃性なし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

環境に対する注意事項：河川等へ排出され、環境へ影響を起すことがないように注意する。

除去方法：漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：換気の良い場所で取り扱う。

保管：日光の直射を避けること。通風のよいところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露しないような配慮をすること。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：

	日本産業衛生学会(2005年版)	ACGIH(2005年版)
二酸化チタン		TWA 10mg/m ³
カーボンブラック		TWA 3.5mg/m ³

保護具

呼吸器用の保護具	ミストなどの吸入を妨げるマスクを着用する。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：着色液体

色：灰色

臭い：僅かアクリル臭

pH：7～8

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：

融点／凝固点： データなし
沸点： 製品 100 °C
初留点： データなし
沸騰範囲： データなし
引火点： データなし
発火点： データなし
爆発特性： データなし
蒸気圧： データなし
蒸気密度： データなし
蒸発速度： データなし
比重： 1.1
溶解性： データなし
オクタノール／水分配係数： データなし
分解温度： データなし
その他のデータ： 特になし

1 0. 安定性及び反応性

安定性 反応性 接触により危険性のある物質： 情報無し。
燃焼などによる有害ガス発生： このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、CO等の発生。
その他の反応性情報： 普通の条件での反応性はない。
その他の危険性情報： 特になし。

1 1. 有害性情報

引火性液体 : データ不足のため分類できない。
急性毒性（経口） : 混合物として区分外に分類される。
急性毒性（経皮） : 混合物として区分外に分類される。
急性毒性（吸入） : 混合物として区分4に分類される。
皮膚腐食性／刺激性 : 混合物として区分外に分類される。
眼損傷／眼刺激性 : 混合物として区分外に分類される。
皮膚感作性 : 混合物として区分外に分類される。
呼吸器感作性 : 混合物として区分外に分類される。
変異原性 : 混合物として区分外に分類される。
発がん性 : カボンブラック；区分2
上記より混合物として区分2に分類される。
生殖毒性 : 混合物として区分外に分類される。
標的臓器／全身毒性－単回暴露 :
二酸化チタン；区分3（気道刺激性）
上記より混合物として区分外に分類される。
標的臓器／全身毒性－反復暴露 :
二酸化チタン；区分1（肺：吸入）
カボンブラック；区分1（肺）
データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない。

その他の情報： 情報なし。

1.2. 環境影響情報

生態毒性：

水生生物有害性： 二酸化チタン EC50(48hrs) 甲殻類 (オミジノコ) >1,000,000µg/L
(AQUIRE、2003)

カーボンブラック EC50(24hrs) 甲殻類 (オミジノコ) >5600mg/L
(IUCLID、2000)

上記より混合物として水性環境急性有害性は区分 2 に分類される。

また、生分解性、蓄積性のデータより、水性環境慢性有害性は区分 2 に分類される。

残留性／分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壌中の移動性： データなし

他の有害影響： 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1.3. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝へ流さないこと。

焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

1.4. 輸送上の注意

共通： 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

陸上輸送： 法規に該当しない。

海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送： 航空法に定める所に従う。

国連番号： なし。

1.5. 適用法令

安衛法 第 57 条の 2 第 1 項(通知) 二酸化チタン・カーボンブラック

1.6. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (N I T E) ホームページ GHS 分類結果データベース
原料メーカーの SDS

日本塗料工業会編集 「GHS 対応 SDS ・ラベル作成ガイドブック」

国際化学物質安全カード (I C S C)

製品安全データシートの作成指針 (改訂版) 日本規格協会 (2001 年 10 月)

日本工業規格 J I S Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

危険物船舶運送及び貯蔵規則 海文堂

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。